

# 林兼産業株式会社

## 2016年3月期 決算説明資料

---

2016年5月13日

# 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	47,664	48,245	581	49,200	▲954
営業利益	430	819	388	550	269
経常利益	448	706	257	450	256
親会社株主に帰属する 当期純利益	383	384	0	300	84

## 前期との主な変動要因

売上高 魚肉ねり製品の販売数量増加により増収  
食肉加工品の販売数量増加により増収

営業利益 原材料価格の高騰に対応した価格改定により増益  
豚肉の販売単価上昇により増益

# セグメント別の売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
<b>売上高</b>	47,664	48,245	581	49,200	▲954
水産食品事業	3,618	3,868	249	4,300	▲431
畜産食品事業	20,104	21,199	1,095	20,600	599
飼料事業	21,513	21,011	▲502	22,200	▲1,188
その他の事業	2,427	2,166	▲261	2,100	66
<b>営業利益</b>	430	819	388	550	269
水産食品事業	▲13	▲83	▲70	100	▲183
畜産食品事業	286	739	452	490	249
飼料事業	931	952	20	860	92
その他の事業	189	223	34	130	93
消去又は全社	▲963	▲1,011	▲47	▲1,030	18

# 貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2015年3月期末	2016年3月期末	
			増減
流動資産	11,939	12,109	169
固定資産	15,082	14,797	▲285
資産合計	27,022	26,906	▲115
流動負債	15,072	14,504	▲568
固定負債	6,923	6,987	64
負債合計	21,996	21,491	▲504
純資産合計	5,026	5,414	388
負債純資産合計	27,022	26,906	▲115

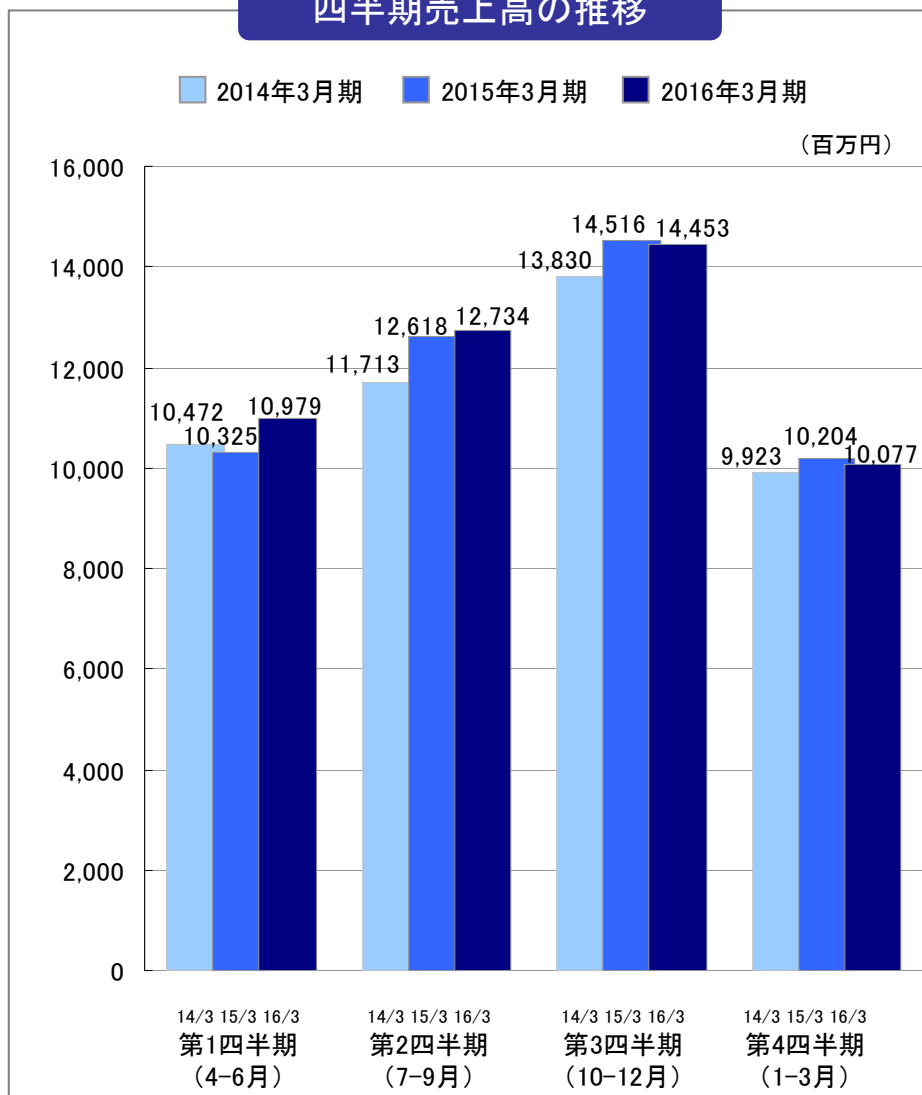
# キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

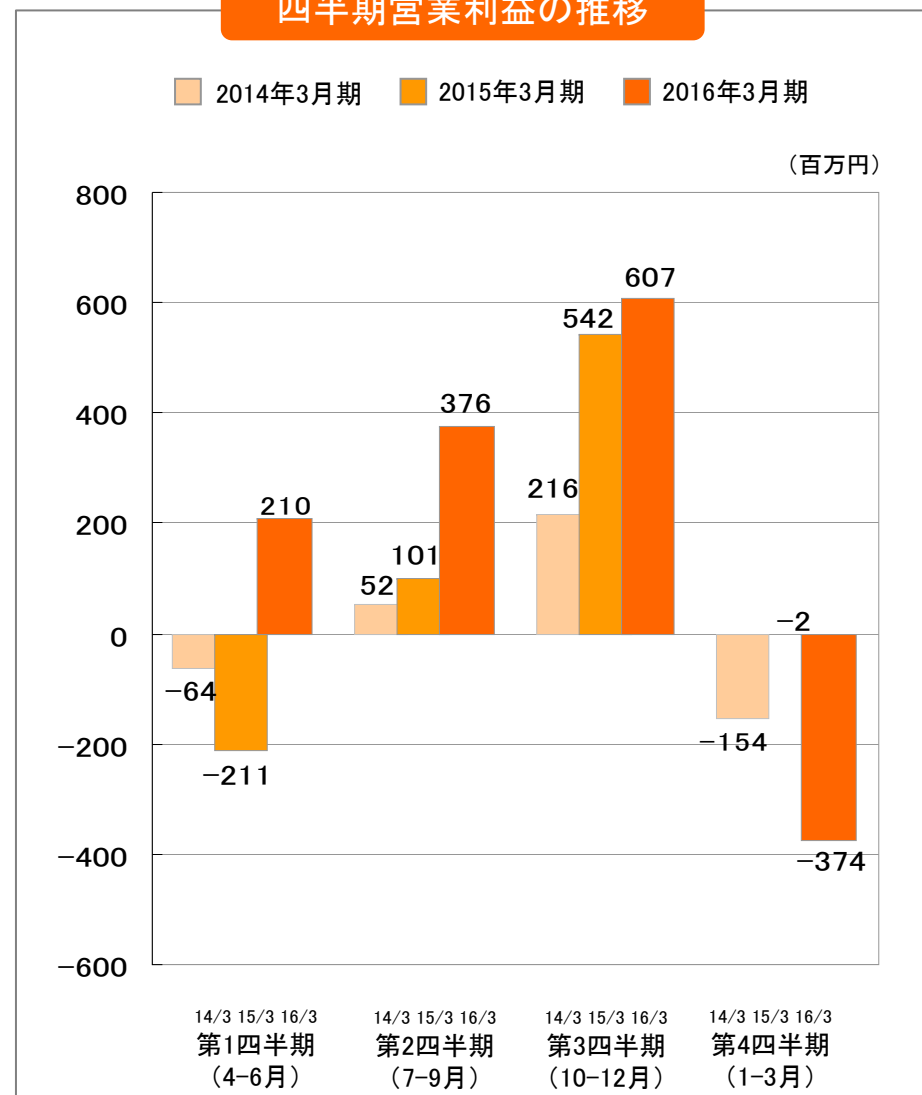
	2015年3月期	2016年3月期	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	859	1,114	255
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲386	▲427	▲41
フリー・キャッシュ・フロー	473	687	214
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲908	▲669	239
現金及び現金同等物の増減額	▲436	17	453
現金及び現金同等物の期首残高	1,834	1,397	▲436
現金及び現金同等物の期末残高	1,397	1,415	17

# 業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移

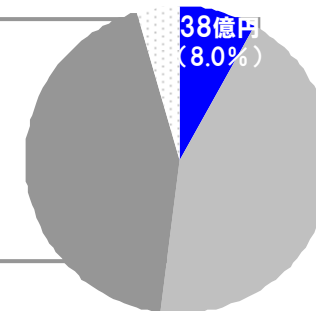


概況：魚肉ねり製品の販売数量増加により増収

## 水産食品事業

売上高 **38億68百万円**（前期比 6.9%増）

営業利益 **▲83百万円**（前期 ▲13百万円）



## 2016年3月期の状況

### 水産食品

- ・ 魚肉ねり製品の主力取引先への販売数量増加により増収
- ・ 中国・香港への輸出量増加により増収
- ・ 主原料のすり身価格の高騰により減益

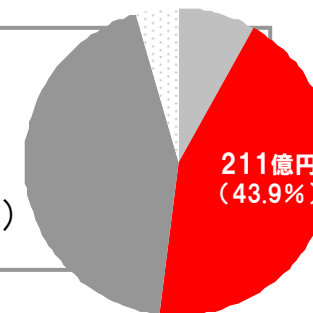
### 機能性食品

- ・ 高齢者向けソフト食「ソフミート」の売上増加により増収
- ・ 和菓子の売上増加により増収

概況：食肉加工品の販売数量増加および豚肉の販売単価上昇により増収増益

## 畜産食品事業

売上高	211億99百万円	（前期比 5.4%増）
営業利益	7億39百万円	（前期比 157.8%増）



## 2016年3月期の状況

### 食肉加工品

- ・ 食肉加工品の販売数量増加および生産効率の改善により増収増益

### 食肉

- ・ 豚肉相場の堅調な推移による販売単価上昇や鶏肉の販売強化により増収
- ・ 「霧島黒豚」の拡販に努めたことにより増益

### 調理食品

- ・ 惣菜の販売が好調に推移したことにより増収

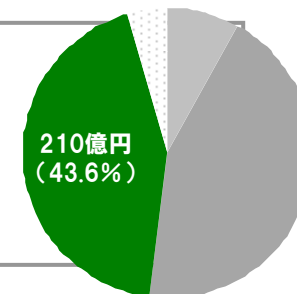


概況：養鶏用飼料や活魚の販売数量減少により減収

## 飼料事業

売上高 210億11百万円（前期比 2.3%減）

営業利益 9億52百万円（前期比 2.2%増）



## 2016年3月期の状況

### 養魚用飼料

- ・ 輸出版売数量増加および大口ユーザーとの連携に努めたことにより増収

### 水産物

- ・ ブリ相場低迷や活魚（ハマチ・カンパチ）の取扱量減少などにより減収
- ・ 鰻相場堅調により増益

### 畜産用飼料

- ・ 養鶏用飼料の販売数量減少により減収

 林兼産業株式会社

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先

林兼産業株式会社 管理本部総務部

TEL 083-266-0210

IRサイト <http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>